

# 令和3年度 第1回笠松町総合計画審議会 議事概要

日時	書面開催（令和4年2月17日付）
委員	大成会長 岩井副会長 片山委員 山田委員 田村委員 廣江委員 臼井委員 岩田委員 岡田委員 名和委員 川合委員 古澤委員 伊藤委員 久納委員 樋口委員 田島委員 カラギョル委員 高島委員
議事概要	
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり指標（事務局案） 承認 14名 ・ 非承認 なし</li> <li>令和3年度実施計画（事務局案） 承認 14名 ・ 非承認 なし</li> </ul>
指標番号	まちづくり指標（KPI）に対するご意見
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体としては順調な結果で推移している。ただし、コロナ禍であるが、手法の見直しなどの工夫をし、そうしたことが分かるような評価が必要である</li> <li>KPIが設定されていない重要な施策も多いので、しっかり評価をしてほしい</li> <li>コロナの終息に対応できるよう、事前の準備や検討が必要である</li> </ul>
基本方向1 ぬくもりと笑顔あふれる思いやりのまち	
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座関係について、各組織や家庭のインターネット環境にもよるが、リモートによる配信を検討してはどうか</li> <li>（5）子ども・子育て支援、幼児教育の推進について 子どもの権利条例について町民全体に認知してもらい、子どもたちが意見を言える場を子ども館にも設けてほしい</li> </ul>
指標3	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通バリアフリー化については、交通事故減少のためにも早々に着手してほしい</li> </ul>
指標20	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども館の利用について、保護者も利用しやすい環境にしてください、子ども会の活性化にも期待する。子ども会育成会長向け内覧会、子ども主体の防災イベント、子ども会イベントのパッケージ化など</li> </ul>
指標21	<ul style="list-style-type: none"> <li>主な取り組み64「LGBTに配慮した環境づくりの推進」について、具体的な事務事業が啓発や広報誌での周知という概念的なものが多いため、現実的な内容を増やしてはどうか （例）公共施設に多目的トイレを完備、役場の申請用紙等の性別欄の見直し・削除など</li> </ul>
基本方向2 未来へ繋ぐ心豊かな人づくりのまち	
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>他と比べて評価が低い。子ども時代に体験することが掛け替えがないものであることから、コロナ禍ではあるが、少しでも具体的な代替の提案がほしい</li> <li>いじめと不登校は必ずしもつながるものではなく、ひとくくりにはできないことから、「いじめの解消や不登校の児童及び生徒に対する学びの保障」と分けて記載してほしい。また、不登校状態にある児童や生徒の経済的負担について、給食費や学費の相談しやすい環境が必要である。保護者からは相談しづらいので、学校や行政から働き掛けをしてほしい</li> </ul>
指標23	<ul style="list-style-type: none"> <li>食の安全を保つためにも、目標値を超えて推進していただきたい</li> </ul>
指標24	<ul style="list-style-type: none"> <li>4級から周知に努めるなど、子どもの達成感ややる気が続く工夫ができると目標が達成できるのではないか。英語に興味を持ってもらえるような授業をしてほしい。</li> <li>英検3級は中学生ではハイレベルではあるが、落ち込みが激しい。教育現場との連携が重要と考える「中学校卒業時の英検3級合格者数の割合 目標50%」について、ハードルが高いため、級を特定せず、英検合格者としてはどうか。また、中学3年生の受検者数を増やすには、対策講座の時期を高校受験と重なる冬ではなく、秋のキッズウィークあたりにしてはどうか。</li> <li>4級からの周知に努め、子どもの達成感が続く工夫ができると良い</li> </ul>
指標26	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内での研修やネット上での交流など、あらたなアイデアを検討してほしい</li> </ul>
指標30	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に根付いた魅力的な図書室にするため、利用者数の検証をしてほしい</li> </ul>
指標32	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民運動会のあり方について検討をしてはどうか</li> <li>町民運動会について、子ども会も協力しているが、リレーへの参加動員が人数減少で負担となっている。協議内容などを再考し、継続していただきたい</li> </ul>
指標34	<ul style="list-style-type: none"> <li>笠松力検定（ビギナー検定）について、学校のテスト等と時期をずらすよう、中学校と連携していただきたい。</li> </ul>

基本方向3 にぎわいと活力あふれる創造のまち	
全般	・安心安全な給食はもちろん、オーガニック給食の推進、幼児期から農業に取り組みやすい環境づくり
指標41	・サイクリングロードの利用者の増加に向けた検討をしてほしい
基本方向4 便利で快適に暮らせるやすらぎのまち	
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1) 計画的な土地利用の推進 企業の製造・物流拠点の新設や再編ニーズは多く、笠松町において、一定規模の土地の確保及び利用促進を図ることが必要である</li> <li>・(6) 循環型社会の構築 ごみの有料化に伴い、ごみ量の状況はどうか。資源ごみの回収所は便利で良い</li> </ul>
指標45	・道路の幅員が狭いので、車両がすれ違えるよう、早期完了してほしい
指標49	・自己搬入施設が予約制なので利便性を高めてほしい
基本方向5 安全で安心して暮らせる住みよいまち	
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく実践されている。しかし、指標57以外はA以上を目指していただきたい</li> <li>・(1) 防災対策の推進 防災訓練をコロナで中止にするのではなく、コロナ禍で災害が起きた場合の想定で訓練する必要がある。</li> </ul>
指標50	・Wi-Fi スポットは、防災だけではなく観光への効果も期待されるため、設置数の増加を検討し、充実させてほしい
基本方向6 「官」「民」協働で築き上げる持続可能なまち	
指標58	・観光・イベント情報の閲覧数を増やすため、見せ方の工夫をしてはどうか
指標60	・明るく気配りのある窓口対応ができるよう、研修があれば受けていただきたい
その他のご意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども会へ加入する世帯が減少している。町内によっては町内行事参加への強要があり、負担となっている。</li> <li>・笠松町は近隣主要都市への交通の便が良く、街中は静かで、大型ショッピングセンターも近くにある。ベッドタウンとして、若年層・子育て層の定住を更に促すため、出産・子育て・子どもの福祉や教育の充実などをより充実させると良い。</li> <li>・各指標に関わることも、LINE を活用するなど、広報の充実に取り組んでいただきたい</li> </ul>	
笠松町の対応	
<p>コロナ禍ではあるが、ただ中止をするのではなく、手法を見直して実施すべきというご意見を多くいただいている。</p> <p>また、個別の指標についても上記のとおり具体的なご提案をいただいていることから、第6次総合計画2年目である令和4年度の事業は、まちづくり指標の更なる達成率の向上を目指して施策を実施する。</p>	